



大勢の友達との人間関係を学んだ交流保育

園長 太田 伸男

10月11日、市之瀬幼稚園を会場にして小合東幼稚園と小須戸幼稚園との三園で、交流会を行いました。6月8日に結幼稚園で四園交流会を行って以来2回目、4か月ぶりの再会でした。市之瀬幼稚園の子どもたちは、自分からトイレを案内するなどして、恥ずかしがらずに温かく迎え入れました。

初めは、普段のお店屋さんごっこで自由に遊びました。アイス屋さんでは、年少・年中児と一緒に店員になって遊びました。材料コーナーから色画用紙を持って来ると、ハサミで刻み新しい味のアイスを作りました。同じことをして遊んでいる子どもたちは、互いに親しみを感じたようです。



しばらくすると、市之瀬幼稚園の年長児がリレーのバトンを持って遊戯室へ行き、「リレーする人?!」と呼びかけました。三園の子どもたちが次々と集まってきて、2チームに分かれましたが一人足りません。脇で見ていた子に、「一緒にやろう!」と積極的に声を掛けました。誘われた子は、笑顔になって仲間に加わりました。2回目には、ほぼ全員が加わってリレーをしました。三園が混じり、大勢の子どもで遊ぶ楽しさを体験できました。



その後、三園がそれぞれ、運動会で踊ったダンスを披露しました。小須戸幼稚園のバチや市之瀬幼稚園のリストバンドを全員が手にして、一緒に踊りました。ダンスを通して、お互いのよさを認め合いました。



別れる前に雨が上がったので、市之瀬の森でドングリ拾いをしました。他園の子に、ドングリのことを教えたり、拾ってあげたりする姿が見られました。帰りのバスを見送る時には、別れを惜しみ、バスが見えなくなるまで手を振りました。



三園はそれぞれが少人数ですが、一緒に集まれば20人以上になります。2回の交流会を通して、違う園の友達に対して自分から進んで話し掛けたり、遊びに誘ったりして、仲良く遊べるようになってきました。大勢の友達がいる時にどう関わったらいいのか、学ぶ機会となりました。

10月18日には、小須戸体育館で三園合同の「アルビレックスサッカー教室」を開催しました。今年度は、交流会をあと4回行います。活動がさらに充実するように、努めていきます。